



Yonago East Weekly

「一人ひとりが輝きを！ ロータリーに大きな輝きを！」

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859)32 - 5531
●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
●会長/高橋孝之 ●幹事/杉本真吾 ●会報/細田耕治

会員数 97名
(正会員 96名 名誉会員 1名)

今週のお祝い

結婚記念日祝 : 3日 澤 耕司君 5日 木下
栄夫君 7日 足立博俊君 杉本真吾幹事 植田
三男君 12日 木美俊彦君 岩岡三男君 17日
江原 保君 21日 長棟信泰君 29日 高田 剛
君

会長挨拶

今日から新入会員として小林さんが入会されました。本日は3月最後の例会で皆さん年度末のあわただしい時期だと思います。
ロータリーは6月が年度末ですので地区ガバナー事務所からさまざまな連絡があります。その中で目標を達成したどうか問い合わせがあります。「会員数」われわれ米子東ロータリークラブはこの地区では飛びぬけて多いです。「出席」特に「ロータリーカード」普及率については最下位です。40%が目標ですが他のロータリークラブは30%ぐらいですが当クラブは6%です。極端に低いです。ぜひ加入して下さい。もうひとつはよいよ来月になりましたIMの参加です。例年当クラブの規模のわりには参加人数が少ないので特に3年未満の方は義務出席になっていますので是非参加をお願いします。クラブの人数が多くなることでコミュニケーションができていくなど様々な問題が出てきます。人数は最大ですが質でもこの地域でのリーダーとなるクラブを目指したい。

幹事報告



1. 本日、新入会員 小林慎一君入会
下村会員退会
2. 杉原弘一郎会員 マルチプルP・H・P表彰
3. 3/21~22親睦交流旅行(岡山)
13名参加(ゴルフ10名含む)
4. 4/19大山春の一斉清掃のお願い
5. 4月ロータリーレート 1ドル118円(3月と同じ)
6. 例会変更のお知らせ
倉吉RC 4/7(火)会場変更 ビジター受付あり
鳥取北 4/7(火)移動例会 "
松江しんじ湖 4/7(火)夜間例会 "

今後の主な行事予定	
4/19 地区研修・協議会	(岡山コンベンションセンター他)
大山春の一斉清掃	
4/26 第1・2グループ合同IM	(倉吉シティホテル)
4/29 休会(法定休日)	
5/6	〃
5/13 新旧引継ぎクラブ協議会	(2F高砂)



Light up Rotary
ロータリーに輝きを

<プログラム>

「私の職業」 陶山正明 会員



米子駅の仕事と話題の寝台列車についてお話しします。まず会社の中期経営計画の一つは鉄道事業者としての使命を果たすということです。鉄道を社会的基盤とし持続的に安全で豊かな社会づくりに貢献する公共性を有する企業です。もう一つは地域共生企業となるということです。地域の皆さんと交流と連携を深めJR西日本グループ一体でエリアにそくした事業展開ことで鉄道の品質を高めるだけでなく非鉄道事業を拡大しながら新たな事業創造を促進することで最終的に地域の活性化に貢献できることを目的としています。この地域共生企業となる姿は山陰など都市圏以外のエリアでは活かすことをキーワードに様々なことに着手しています。

24年度の山陰デスティネーションキャンペーンの共同開催、山陰エリア乗り放題等観光面からの促進を図っています。良質なサービスを提供することで地域の皆様のお役に立つと共に、京阪神・山陽方面を中心に全国からご利用いただくことで地域貢献ができればと考えています。

米子管理局の概況を説明します。米子駅は明治35年11月に開業しことして114年目を迎えます。わたしは国鉄時代から数えて50代目の駅長をしています。山陰本線の米子～中山口、伯備線の伯耆大山～上石見、境線の米子～境港を管轄しています。駅数は33駅です。その内米子、伯耆大山、根雨、境港の4駅はJRの社員を配置している。米子駅の一日の乗降人数は約7500名、列車数は140本の運転。社員数は79名そのうち67名が米子駅で業務しています。JRになりましてから女性社員も20名勤務しています。ご利用のお客様にはソフトなイメージを持っていただいていると考えています。主に出張業務(切符売り)、改札やご案内業務、信号取扱業務の三つがあります。特に信号取扱業務とは米子駅発着の列車に赤信号や青信号を出していますのでこの業務がないと列車が走らないという重要な業務です。これらの業務を一人一人が着実にやりお客様に快適にご利用いただけるように努めています。

新しい寝台列車「トワイライト瑞風」の説明をします。JR九州の「七つ星」に匹敵する豪華な設備を備えた列車を現在設計しています。列車名は美しい瑞穂の国を風のように駆け抜けるイメージで命名しました。ロゴデザインは沿線の山並みやトワイライトエクスプレスを踏襲したものとなっています。「美しい日本をホテルが走る、上質の中に懐かしさ」を列車のコンセプトとして、時間的経済的に余裕があるシニア層をターゲットにしたいと考えています。

列車の特徴ですが一両に一室の部屋もあります。食事・インテリア・立ち寄り観光先を含めてその土地の最良のものをお客様に堪能していただくことに力を入れています。運航時期は平成29年春、運航エリアは京阪神・山陰・山陽エリアを予定しています。列車の編成は前後に展望室、食堂車1両、ラウンジカー1両、客車6両の合計10両編成です。定員は30名です。またバスタブ付の列車ということで非常に珍しいと思います。今後、詳しいサービスや立ち寄り先等ご案内いたします。

最後に米子の玄関口としてお客様のお出迎えお見送りを精一杯行うなど地域貢献を図っていきたく考えていますので今後ともよろしくお祈りいたします。

米子東ロータリークラブ 野球同好会報告
キャプテン 岩崎稔 会員

本年度のスケジュール報告
・鳥取県西部地域5RCリーグ戦
・四国遠征
・選抜大会参加(新潟)

新入会員紹介 小林慎一君



(有)アクティブ・プロ
代表取締役
米子市夜見町1895-3
TEL 48-0700 FAX 48-0600